

I. 中心市街地全体に係る評価

○計画期間：平成28年4月～令和4年3月(6年)

1. 計画期間終了後の市街地の概況

本市は、平成28年4月以降、「質の高い地域資源を活かし、選ばれるまちに～にぎわいと郷町(まち)の活力(ちから)を未来(このさき)へ～」というコンセプトのもと、「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町(まち)なか」、「まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか」、「もてなし心のある、住みたい郷町(まち)なか」という3つの目標、4つの目標指標を掲げ、計画期間内に94の事業に取り組んできた。

特に、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、中心市街地内における文化施設等の休館、飲食店等の休業や営業時間の短縮、さらにはにぎわい創出に寄与するイベント等、本計画に位置付けた多くの事業が中止・延期となり、本計画の推進にも多大な影響が出たことから、本市として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した緊急対応策の各種事業にも取り組んできた。

その結果、徐々にではあるが「新しい生活様式」に対応させたイベント等も再開され、また人通りの多い場所でも新規出店に伴う営業店舗も増加するなど、空き店舗の解消も一部見られた。

また、中心市街地の居住人口は増加し、中心市街地内の地価は計画策定時から順調に上昇していることは、一定評価できる。

しかしながら、中心市街地内の飲食店等の店主の高齢化・後継者不足等による閉店・廃業に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少等の結果、目標指標でもある「中心市街地空き店舗数」の減少に繋がらなかったことから、さらなる空き店舗対策等を進めるため、令和3年度には計画期間の延長(1年間)を行ったが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響も続き、令和2年度と同様に中心市街地におけるにぎわい創出が図れなかったことから、4つの目標指標とも「未達成」となった。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口 (基準日：毎年度1月1日)

(単位：人)

(中心市街地 区域)	平成27年度 (計画前年度)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)	令和元年度 (4年目)	令和2年度 (5年目)	令和3年度 (最終年度)
人口	14,231	14,293	14,488	14,462	14,665	14,893	14,828
人口増減数	444	62	195	▲26	203	228	▲65
自然増減数	35	41	70	36	▲7	17	9
社会増減数	(※1) 61	21	125	▲62	210	211	▲74
転入者数	(※1) 261	538	615	563	688	670	527

■人口…町字別年齢別人口より

■人口増減数…町字年齢別人口(住民基本台帳)より

■自然増減数、社会増減数、転入者数…行政区別異動統計表より

(※1) …平成27年6月以前は住基システム上、小字別の該当数値を把握していないため、平成27年7

月以降よりの数値で算出したもの

(2) 地価 (基準日：毎年度1月1日)

地価公示：1平方メートルあたりの価格(円)

	平成 27 年度 (計画前年度)	平成 28 年度 (1 年目)	平成 29 年度 (2 年目)	平成 30 年度 (3 年目)	令和元年度 (4 年目)	令和 2 年度 (5 年目)	令和 3 年度 (最終年度)
中心市街地 平均	272,000	278,833	285,333	301,333	324,500	335,000	344,833
西台 3 丁目 526 番 12	235,000	239,000	243,000	256,000	273,000	282,000	292,000
西台 1 丁目 51 番 1 外	305,000	312,000	319,000	335,000	359,000	367,000	375,000
伊丹 3 丁目 528 番 1	240,000	248,000	255,000	268,000	288,000	295,000	302,000
中央 1 丁目 45 番	404,000	414,000	423,000	450,000	490,000	508,000	520,000
伊丹 1 丁目 246 番 11	233,000	240,000	246,000	260,000	280,000	292,000	305,000
中央 4 丁目 18 番	215,000	220,000	226,000	239,000	257,000	266,000	275,000
市全体平均	172,980	174,429	177,139	180,455	186,782	188,827	192,184

2. 計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか。(個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断)

【進捗・完了状況】

- ①概ね予定通り進捗・完了した ②予定通り進捗・完了しなかった

【活性化状況】

- ①活性化した
②若干活性化した
③計画策定時と変化なし
④計画策定時より悪化

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2.における選択肢の理由)

計画していた 94 の事業のうち、4 事業を除く全ての事業が「完了」、若しくは「実施中」であったことから、【進捗・完了状況】については「①概ね予定通り進捗・完了した」とした。

本計画に掲げた「文化施設(8施設)利用者数」、「中心市街地空き店舗数」、「2軸における歩行者・自転車通行量」、「中心市街地における居住人口」の4つの目標指標について、平成30年度終了時点では全てが基準値を達成し、特に「2軸における歩行者・自転車通行量」については目標値も達成出来た。

しかしながら、令和元年度、令和2年度終了時点では、4つの目標指標のうち「文化施設(8施設)利用者数」、「中心市街地空き店舗数」が基準値を達成出来ず、令和3年度終了時点では、4つの目標指標全てが基準値を達成出来なかった。

「中心市街地空き店舗数」は、中心市街地内の飲食店等の商店主の高齢化・後継者不足等による閉店・廃業による増加も重なったものと判断するが、4つの目標指標が達成出来なかった最大の要因は「新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった」ものと考えられることから、新型コロナウイルス感染拡大前の状況を鑑み、【活性化状況】については「②若干活性化した」とした。

4. 中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

【活性化状況】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【詳細を記載】

本計画の事業進捗については、毎年度「定期フォローアップ」にて確認を行い、都度意見・要望を述べてきたが、特に令和2年1月頃から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本計画に位置付ける多くの事業の進捗に支障が生じた。

その中でも、伊丹市においては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、事業所等賃料補助事業をはじめ、キャッシュレス決済ポイント還元事業、市内飲食店のテイクアウト・デリバリー支援事業、Go To 伊丹キャンペーン事業、商店街お買物券事業等を実施し、中心市街地をはじめとした伊丹市内全域でにぎわいを回復させるための支援策等に取り組んできた。

また、新型コロナウイルスの感染状況が比較的落ち着いた時期には、感染症対策を講じた上で、当協議会が主催する「イタミ朝マルシェ」や「クリスマスマーケット」、「鑑賞 de 寄っつく！ itami」等のイベントも実施してきたが、感染拡大時には、「伊丹まちなかバル」に代表される数多くのイベントの中止・延期を決定した。

本計画に続き、更なる中心市街地の活性化を図るため、令和4年4月から令和9年3月までを計画期間とする「第3期計画」を策定するにあたり、当協議会からも伊丹市に多くの意見・要望を述べたが、引き続き空き店舗対策に取り組むとともに、「新しい生活様式」に対応したイベント事業等を展開し、令和2年6月に認定された「日本遺産」、令和4年4月22日にグランドオープンした「市立伊丹ミュージアム」を積極的に活用しながら、官民が一体となった取り組みを進め、第3期計画に掲げる目標指標の達成を目指したい。

5. 市民意識の変化

【活性化状況】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【詳細を記載】

●来街者アンケート調査の比較(平成27年度、令和3年度)

本計画の策定前年度の平成27年度、ならびに「第3期計画」の策定前年度の令和3年度に、中心市街地への来訪者を対象に、中心市街地への来訪状況や取組に対する意見等を把握するためにアンケート調査を実施した。

①平成27年度来街者アンケート調査

■調査日

- ・平日：平成27年6月30日(火)10:00～19:00(休日調査も別途実施)

■調査場所

- ・JR伊丹駅前(アリオ前) ・阪急伊丹駅前 ・ことば蔵前 ・三軒寺前広場周辺

・サンロード商店街内

■回収数(5カ所の合計)

・平日：201 サンプル(休日：210 サンプル)

②令和3年度来街者アンケート調査

□調査日

・平日：令和3年7月8日(木)・13日(火)各10:00~17:00(休日調査も別途実施)

□調査場所

・JR伊丹駅前(観光物産ギャラリー) ・阪急伊丹駅前 ・サンロード商店街
・ことば蔵

□回収数

・平日：247 サンプル(休日：242 サンプル)

③質問項目

・伊丹市の中心市街地について満足している点

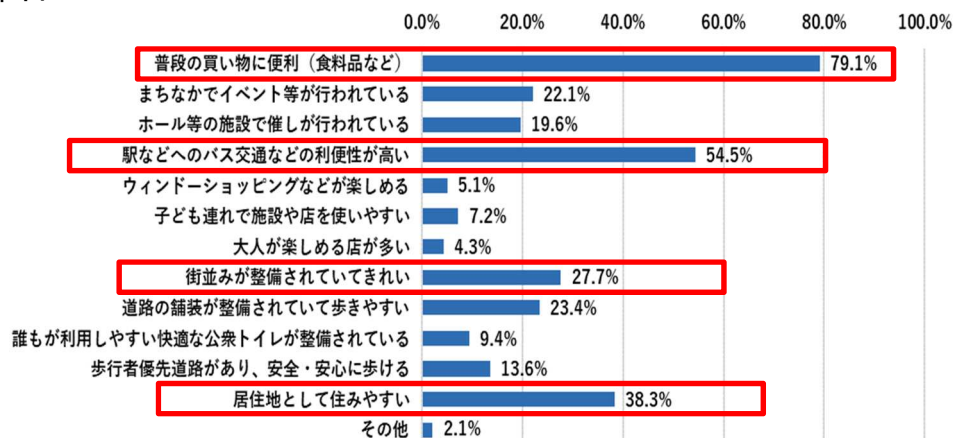
(1)平成27年度

■平日



(2)令和3年度

■平日



上記結果から、平成27年度よりも令和3年度の方が高くなっている項目が多いが、特に平成27年度でも高かった「普段の買い物に便利(食料品など)」(47.3%→79.1%)、「駅などへのバス交通などの利便性が高い」(34.3%→54.5%)、「街並みが整備されてきれい」(27.4%→27.7%)、「居住地として住みやすい」(26.4%→38.3%)が、令和3年度でさらに高くなっていることから、【活性化状況】は「①活性化した」とした。

6. 今後の取組

本計画で位置付けた 94 の事業のうち、4 事業を除く全ての事業が「完了」、若しくは「実施中」であったことから、概ね予定通り進捗・完了したと言える。

特に、「5. 市民意識の変化」においても、来街者アンケート調査結果を見ても、計画最終年度である令和 3 年度では、中心市街地に対する満足度も高くなっており、中心市街地のにぎわい創出に寄与する各種事業の効果が出てきたものとする。

しかしながら、令和 2 年度、さらには計画最終年度である令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、4 つの目標指標のいずれも「未達成」となった。

本計画は令和 4 年 3 月の計画期間満了をもって終了となるが、新型コロナウイルス感染症の影響が達成出来なかった要因である一方で、次のような 4 つの「課題」も出てきた。

1 つ目としては、「イベントの開催日における賑わいを、開催日以外の平時にうまく繋げることが出来ていない」こと、2 つ目としては、「文化施設同士の連携、また文化施設と中心市街地内の商店街や店舗との連携が出来ていない」こと、3 つ目としては、「中心市街地の空き店舗のうち、約半数が『1 階の空き店舗』であり、その結果、商店街などで店舗の連続性が失われ、魅力が低下している」こと、最後に 4 つ目としては、「少子高齢化に伴う中心市街地の居住人口が減少する中、居住環境の付加価値を高めなければ、転入促進・転出抑制が図れない」こと、これら 4 つの「課題」を解決するため、令和 4 年 4 月から令和 9 年 3 月までを計画期間とする第 3 期計画を策定し、令和 4 年 3 月 24 日付けで認定を受けた。

第 3 期計画の基本方針を、「①地域資源を活用して賑わいを創出する」、「②魅力的な商業空間を創出し、活躍する人材を増やすことで、経済活力の向上を図る」、「③安全・安心に暮らせる都市空間を整備し、来街機会の増加、まちなか居住を促進する」とし、目標指標を、「文化施設(5 施設)利用者数」、「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口(4 エリア合計)」、「中心市街地における 1 階の空き店舗数」、「中心市街地における居住人口(社会増減数)」と位置づけた。

本計画で取り組んできた各種事業のほか、新たに「まちなか DX 推進事業」、「市立伊丹ミュージアム連携事業」、「日本遺産連携事業」、「体験型周遊イベント事業」、「エリアマネジメント促進事業」、「地域子育て拠点支援施設連携事業」等、合計 72 事業に取り組み、中心市街地における都市機能の集積及び経済活力の向上をさらに図り、活性化を進めていく。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値		達成状況
				(数値)	(年月)	
「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町(まち)なか」	文化施設(8施設)利用者数(人/年)	950,104(H26)	1,146,000(R3)	509,226	R4.3	C
「まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか」	中心市街地空き店舗数(店舗)	121(H27)	90(R3)	134	R3.11	C
	2軸における歩行者・自転車通行量(人)	35,719(H26)	41,000(R3)	35,248	R3.10	C
「もてなし心のある、住みたい郷町(まち)なか」	中心市街地における居住人口(人)	13,928(H27)	15,638(R3)	14,600	R4.4	B2

<達成状況の分類>

A：目標達成、B1：概ね目標達成（基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている）、B2：基準値より改善（基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない）、C：基準値に及ばない

※上記について、関連する事業等が予定どおり進捗・完了しなかった場合は、小文字にしてください。

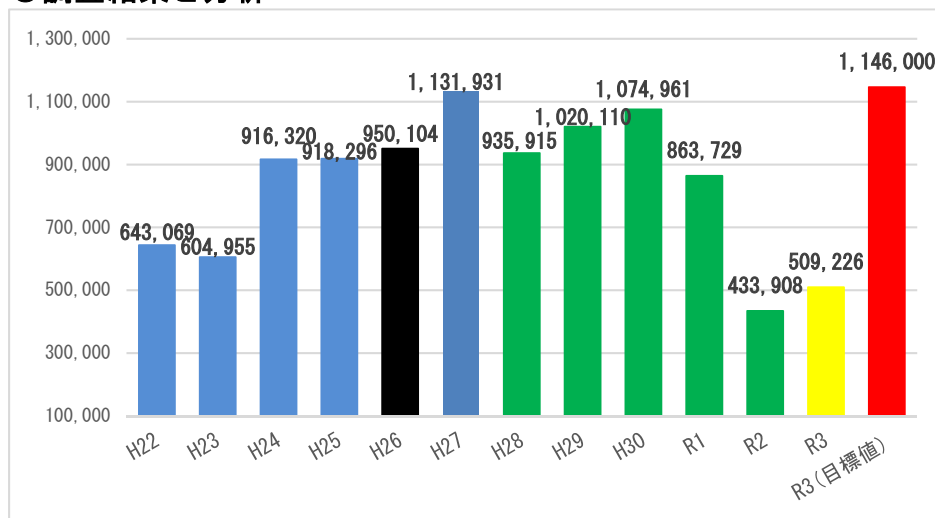
(注：小文字のa、b1、b2、cは下線を引いて下さい)

2. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「文化施設(8施設)利用者数」

※目標設定の考え方 基本計画 P79～P81 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H26	950,104 (基準年値)
H28	935,915
H29	1,020,110
H30	1,074,961
H31	863,729
R2	433,908
R3	509,226
R3	1,146,000 (目標値)

※調査方法：各文化施設利用者及びイベント入場者集計

※調査月：令和3年度(令和4年3月末時点)

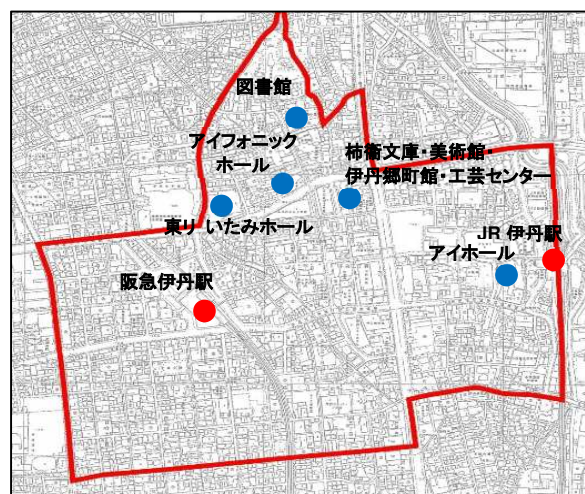
※調査主体：伊丹市

※調査対象：各文化施設

東り いたみホール、アイフォニックホール、アイホール、工芸センター、
柿衛文庫、美術館、伊丹郷町館、図書館

(単位：人)

施設名	H26 (基準年値)	H28 (1年目)	H29 (2年目)	H30 (3年目)	R1 (4年目)	R2 (5年目)	R3 (最終年度)
東り いたみ ホール	208,113	228,294	228,048	227,885	195,971	67,903	121,984
アイフォニック ホール	120,166	111,099	110,939	116,053	107,811	44,205	64,651
アイホール	44,676	43,579	50,863	40,902	39,549	21,716	28,676
工芸センター	59,060	44,148	55,125	66,843	51,881	11,271	0
柿衛文庫	23,940	35,425	50,668	74,999	23,394	8,213	0
美術館	26,636	38,301	54,774	78,149	36,538	8,074	0
伊丹郷町館	73,130	47,500	78,226	65,499	46,670	7,830	0
図書館	394,383	387,569	391,467	404,631	361,915	264,696	293,951
合計	950,104	935,915	1,020,110	1,074,961	863,729	433,908	509,226



<分析内容>

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける令和元年度までの利用者数を見ると、調査対象となる文化施設(8施設)における自主公演をはじめとした各種イベント等の取り組み効果もあり増加傾向となり、基準年値(平成26年度)を上回ってきた。

しかしながら、「市立伊丹ミュージアム」のリニューアルオープンにあわせ、工芸センター、柿衛文庫、美術館、伊丹郷町館の4施設が令和2年9月から令和4年4月22日まで休館した。加えて、他の施設も令和2年度、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い臨時休館や開館時間の短縮等も実施され、さらに中心市街地内におけるイベント事業についても中止・延期等が影響し、令和元年度以降全ての文化施設(8施設)の利用者数が減少した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 図書館交流事業(伊丹市)

事業実施期間	平成 24 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	図書館(ことば蔵)は、貸出サービスだけでなく、交流ゾーンを設け、市民、図書館職員による交流事業を実施し、回遊性の向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成 28 年度～令和 3 年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 40,000 人増 ・最新値 37,859 人増 目標未達成
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未達成】 新型コロナウイルス感染症の影響により、図書館の休館・開館時間の短縮、さらには周辺を含めたイベント事業の中止・延期等となり、目標を達成出来なかった。
事業の今後	今後も、新型コロナウイルス感染症の影響による休館・開館時間の短縮、さらには周辺を含めたイベント事業の中止・延期等も予想されるが、第 3 期計画にも位置づけ、引き続き感染症対策を講じた上で、中心市街地のにぎわい創出のため交流事業を継続し、さらなる来街機会の増加、回遊性の向上を目指す。

②. 文化施設連携事業(いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市)

事業実施期間	平成 20 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設(図書館等)、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施など、有機的な連携を図る。 具体的には、中心市街地内の文化施設(8 施設)における公演や三軒寺前広場におけるイベント情報をまとめた「カルチャーインフォメーション」の発行をはじめ、中心市街地内の文化施設 3 館と図書館、三軒寺前広場、さらには周辺地域の商業施設等で行うイベント「鳴く虫と郷町」、さらには文化施設 3 館の有料公演の利用者に対して半券等を持参することで、中心市街地内の飲食店等で割引等のサービスを受けることが出来る「鑑賞 de 寄っつく! itami」を実施した。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 54,000 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより文化施設(8 施設)利用者数の達成を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設(8 施設)が閉館や開館時間の短縮によりイベント等が中止・延期となったものの、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	これまでは、文化施設(8 施設)が個々の公演やイベント等を実施することが多く、当該文化施設同士の連携事業が不十分であった。

	また、令和元年度から実施した文化施設と中心市街地内の飲食店等との連携事業である「鑑賞 de 寄っトク！ itami」についても、PR が不十分であったことから、今後も事業を継続させ、特に令和 4 年 4 月にリニューアルオープンする「市立伊丹ミュージアム」も対象施設に加えるなど、第 3 期計画にも位置づけ、引き続き感染症対策を講じた上で、中心市街地のにぎわい創出のため連携事業を実施し、さらなる文化施設(8 施設)の利用者増加を目指す。
--	---

③. 観光 Wi-Fi 整備事業(伊丹市)

事業実施期間	平成 28 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	中心市街地内に公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、国内外を問わず観光客の回遊性を図る。
国の支援措置名及び支援期間	観光・防災 Wi-Fi ステーション整備事業(総務省)(平成 29 年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 104,000 人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより文化施設(8 施設)利用者数の達成を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・ 中心市街地内において 11 ヲ所設置済。 ※H28～R3 総アクセス数：328,865 件(年平均 54,811 件)
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、安全・安心のまちに向けて市民の防災対策の強化や訪日外国人等観光客に対するサービスの提供を可能とし、中心市街地の回遊性向上を図っていくという当初の事業目的は達成出来た。
事業の今後	今後は、既存の公衆無線 LAN の更新を実施していくとともに、令和 4 年 4 月にリニューアルオープンする「市立伊丹ミュージアム」内にも一部増設を行い、引き続き環境整備を進め、さらなる観光客の回遊性向上を目指す。

④. 自転車駐車場整備事業(伊丹市)

事業実施期間	平成 28 年度～平成 30 年度【済】 [認定基本計画：平成 28 年度～平成 29 年度]
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)(平成 28 年度～令和 3 年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 104,000 人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより文化施設(8 施設)利用者数の達成を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・ 中心市街地内に 6 ヲ所、合計 634 台分が整備済。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 中心市街地内の文化施設(8 施設)の利用向上にも繋がり、加えて自転車の違法駐車等も解消されるなど、円滑な通行空間が確保され、

	回遊性の向上に寄与していることから、当初の事業目的は達成出来た。
事業の今後	今後は、第3期計画にも位置づけ、計画期間内に整備した自転車駐車場の維持管理・改修を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑤. まちなか大規模イベントの開催・拡充(民間、伊丹市)

事業実施期間	平成10年度～令和3年度【実施中】
事業概要	四季折々の大規模なイベントを開催することで、中心市街地のにぎわいを創出し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成28年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 104,000人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含めた、全体の取り組みにより文化施設(8施設)利用者数の達成を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・ 中心市街地内の大規模イベント参加者数 ※H28～R1: 284,500人(R2.R3中止) ※イベント名: 宮前まつり、ふれあい夏まつり、愛染まつり、蔵まつり
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値: 未設定】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模イベントは中止となったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成28年度から令和元年度の平均が71,125人であったことから、当初の事業目的は一定達成出来た。
事業の今後	今後は、第3期計画にも位置づけ、新型コロナウイルス感染症の影響による、国及び県・市のイベント開催に関する方針を遵守し、開催の是非および実施方法等を検討し、引き続き中心市街地のにぎわい創出のため継続してイベント事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑥. いたみ花火大会の開催(花火大会実行委員会、伊丹市)

事業実施期間	昭和56年度～令和3年度【実施中】
事業概要	中心市街地に隣接する猪名川河川敷で夏の風物詩としての花火大会を開催することで、中心市街地内のにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成28年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 104,000人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより文化施設(8施設)利用者数の達成を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・ いたみ花火大会参加者数 ※H28～R1: 270,000人(R2.R3中止)
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値: 未設定】 令和2年度・令和3年度は、東京オリンピック・パラリンピック開催(令和2年度から令和3年度に延期)、ならびに新型コロナウ

	<p>イルス感染症の影響により中止となったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成 28 年度から令和元年度の平均が 67,500 人であったことから、当初の事業目的は一定達成出来た。</p>
事業の今後	<p>今後は、第 3 期計画にも位置づけ、新型コロナウイルス感染症の影響による、国及び県・市のイベント開催に関する方針を遵守し、開催の是非および実施方法等を検討し、引き続き中心市街地のにぎわい創出のため継続してイベント事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。</p>

⑦. 伊丹まちなかバルの開催(伊丹市中心市街地活性化協議会)

事業実施期間	平成 21 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	市内外から来街者を呼び込み、中心市街地内の飲食店を中心に食べ歩き・飲み歩きイベントを開催することで、回遊性の向上やにぎわいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 104,000 人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより文化施設(8 施設)利用者数の達成を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・ 伊丹まちなかバル参加者数(春・秋) ※H28～R1 : 88,000 人(R2.R3 中止)
達成した(出来なかった)理由	<p>【個別の事業目標値：未設定】</p> <p>令和 2 年度・令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成 28 年度から令和元年度の平均が 22,000 人であったことから、当初の事業目的は一定達成出来た。</p>
事業の今後	<p>今後は、第 3 期計画にも位置づけ、新型コロナウイルス感染症の影響による、国及び県・市のイベント開催に関する方針を遵守し、開催の是非および実施方法等を検討し、引き続き中心市街地のにぎわい創出のため継続してイベント事業を実施し、さらなる来街機会の増加、回遊性の向上を目指す。</p>

⑧. 夜間景観形成事業(伊丹酒蔵通り協議会、民間事業者、伊丹市)

事業実施期間	平成 18 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	中心市街地の東西を結ぶ中央伊丹線において、沿道 3 カ所におけるライトアップや、沿道の商業者、住民が主体となったライトアップに合わせた夜間イベントの実施などを行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 104,000 人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより文化施設(8 施設)利用者数の達成を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・ 夜間ライトアップ、夜間イベント参加者数 ※H28～R3 : 165,748 人

達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等で参加者数が減少となったが、当初の事業目的は一定達成出来た。
事業の今後	今後は、第3期計画にも位置づけ、新型コロナウイルス感染症の影響による、国及び県・市のイベント開催に関する方針を遵守し、引き続き中心市街地のにぎわい創出のため、継続してイベント事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

●今後の対策

文化施設(8施設)利用者数について、主要事業は概ね順調に進捗しており、平成30年度までは順調に利用者数を伸ばしてきた。

しかしながら、令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、対象となる文化施設の休館や開館時間、収容人数が制限され、さらには令和2年9月から「みやのまえ文化の郷(工芸センター、柿衛文庫、美術館、伊丹郷町館)」が「市立伊丹ミュージアム」としてリニューアルオープン(令和4年4月22日)するための改修工事に伴う休館等となったことにより、主要事業の大半を占めるイベント等が中止・延期となり、目標を達成出来なかった。

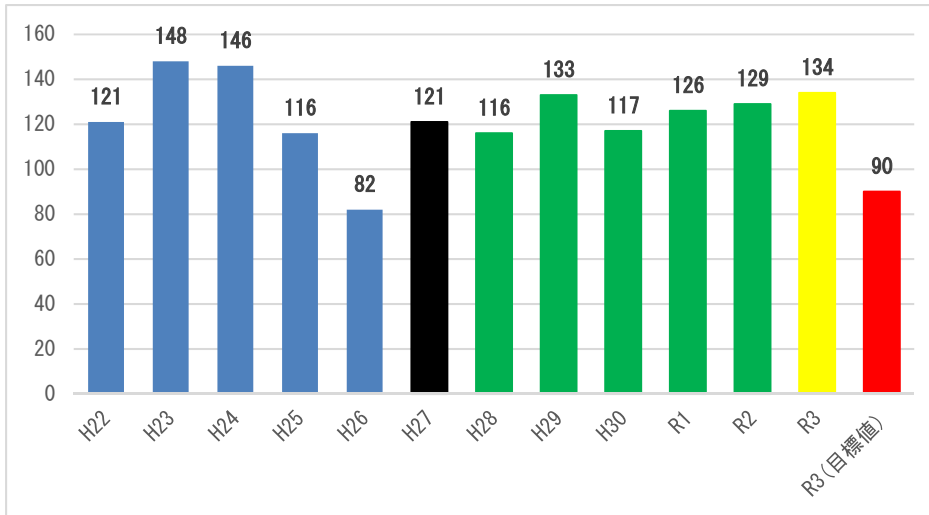
目標が達成出来なかった要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響を除き、①イベントの開催日には賑わうものの、イベント参加者が日頃中心市街地に訪れていない、イベントに出店した店舗等のリピーターに繋がっていないこと、また、②文化施設自身の取り組み以外に、文化施設同士の連携や、文化施設と中心市街地内の商店街・店舗との連携がうまく出来ていないこと、以上のような課題があると考えられることから、これらの課題解決のため、令和4年4月から令和9年3月までを計画期間とする第3期計画において、目標指標「文化施設(5施設※)利用者数」を位置付け、既存の事業も継続して取り組むとともに、新たに新型コロナウイルス感染症の影響下においても中心市街地の回遊性を向上させる事業も実施し、恒常的なにぎわい創出を図っていきたい。

※文化施設(5施設)・・・東り いたみホール、アイフォニックホール、アイホール、図書館、市立伊丹ミュージアム

(2)「中心市街地の空き店舗数」

※目標設定の考え方 基本計画 P81～P84 参照

●調査結果と分析



年	(店舗)
H27	121 (基準年値)
H28	116
H29	133
H30	117
H31	126
R2	129
R3	134
R3	90 (目標値)

※調査方法：中心市街地内を現地確認(視認ならびに近隣への聞き取り)

※調査月：令和3年11月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地

(単位：店舗)

	H27 (基準年値)		H28 (1年目)		H29 (2年目)		H30 (3年目)		R1 (4年目)		R2 (5年目)		R3 (最終年度)	
	空き 店舗	営業 店舗	空き 店舗	営業 店舗	空き 店舗	営業 店舗	空き 店舗	営業 店舗	空き 店舗	営業 店舗	空き 店舗	営業 店舗	空き 店舗	営業 店舗
宮ノ前	6	62	7	65	11	61	10	60	7	61	7	63	7	63
伊丹	8	108	9	108	14	121	11	124	11	126	12	131	10	130
中央	85	432	69	468	71	491	58	519	62	511	70	509	74	503
西台	22	267	31	372	37	366	38	394	46	403	40	414	43	405
計	121	869	116	1013	133	1039	117	1097	126	1101	129	1117	134	1101
空き 店舗 割合	12.2%		10.3%		11.3%		9.6%		10.3%		10.4%		10.9%	

<分析内容>

「中心市街地の空き店舗数」については、平成28年度に116店舗、平成30年度に117店舗といずれも基準値は達成出来たが、計画最終年度の令和3年度を含め、その他の年度は目標値を達成出来なかった。

特に、令和2年1月頃からの新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店や小売店の売上が減少するなど経済的な影響を受け、かつ、先行きも不透明なことから、主要事業の「空き店舗出店促進事業」を活用した出店も減少する中、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、市内店舗等における需要を喚起し、個人事業主等の事業継続や雇用の維持を支援したが、令和3年度は計画期間内でも最も多い134店舗となった。

地区別にみると、令和3年度は宮ノ前地区7店舗(5.2%、R2は7店舗で±0)、西台地区43店舗(32.1%、R2は40店舗で+3)、中央地区74店舗(55.2%、R2は70店舗で+4)、伊丹地区10店舗(7.5%、R2は12店舗で▲2)と、サンロード商店街を中心とした中央地区での空き店舗が多く、経営不振に加え、経営者の高齢化や後継者不足等により事業継続が困難となっている店舗が増えたこと等が理由として考えられる。

また、業種別にみると、物販25店舗(18.7%、R2は26店舗で▲1)、飲食41店舗(30.6%、R2は44店舗で▲3)、サービス33店舗(24.6%、R2は24店舗で+9)、その他32店舗(23.9%、R2は28店舗で+4)、不明3店舗(2.2%、R2は7店舗で▲4)となっている。

これまでの空き店舗調査からは、「テナント募集看板が見受けられなかったもの、3階建以上で昇降設備が備わっていないもの、建物自体の老朽化が著しく、また前面道路が狭隘等で立地状況が悪いものが多数あった」ことが確認できたが、一方では、地区によっては、1階の空き店舗が未だ数多く存在し、魅力的な店舗の連続性を作り出すまでに至っておらず、そのことが中心市街地の商業空間としての衰退に繋がっていると考えられることから、今後は、第3期計画において「中心市街地における1階の空き店舗数」を目標指標に設定し、各種事業に取り組む。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗リノベーション事業(伊丹まち未来(株)、民間事業者など)

事業実施期間	平成 28 年度～令和 3 年度【済】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)(平成 30 年度) 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(令和元年度～) 商店街活性化・観光消費創出事業(経済産業省)(令和元年度～)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 25 店舗(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより空き店舗減少を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3 : 1 店舗
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 対象の空き店舗や空きフロアの調査を行い、当該物件の所有者等と交渉行うも合意に至らなかったことから、当初の事業目的は達成出来なかった。
事業の今後	当該事業については、空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めることを目的としており、空き店舗調査により中心市街地内の空き店舗や空きフロア自体の情報は入手しているため、今後は第 3 期計画では「エリアマネジメント促進事業」を新たに位置付け、中心市街地内の各エリアの価値向上を図るための組織体を立ち上げ、候補地となる物件の選定、所有者等との交渉、リノベーション等を一体で進め、空き店舗の減少を目指す。

②. 創業塾の開催(商工会議所)

事業実施期間	平成 18 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	創業準備中の方や、将来起業を考えている方等、誰もが参加できる創業塾や、女性だけを対象にした女性創業塾を開催し、開業に向けてサポートし、商業の担い手を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 25 店舗(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより空き店舗減少を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3 : 161 人
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 当該事業は、商工会議所が起業を考えている方を対象に、具体的なノウハウを伝える塾を開催し、市街地内における創業支援につなげることを目的として、令和元年度からは女性だけを対象にした

	女性創業塾も開催してきた。 しかしながら、創業塾参加者の追跡調査を行っていないため、空き店舗解消に繋がったことについては不明であるものの、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	今後は、第3期計画にも位置づけ、継続して事業を実施していくことで、「創業支援事業」とも連携し、引き続き中心市街地での創業促進を図り、さらなる商業の担い手育成を目指す。

③. 空き店舗出店促進事業(伊丹市)

事業実施期間	平成28年度～令和2年度【済】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成28年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 20店舗 ・最新値 19店舗 目標未達成
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未達成】 当該事業を活用した新規出店について、平成28年度8店舗、平成29年度6店舗と、当初の平均4店舗/年を上回っていたが、立地状況等が良い空き店舗には一定出店されたことから、平成30年度以降の申請件数が減少し未達成となった。
事業の今後	当該事業は、令和2年度で新規募集が終了し、令和3年度からは新たに「創業支援事業」を実施している。 今後は、第3期計画に位置付け、引き続き空き店舗の減少を目指す。

④. チャレンジショップの開催(伊丹市中心市街地活性化協議会など)

事業実施期間	平成20年度～令和3年度【未実施】
事業概要	商店街などの空き店舗、空きスペースなどを利用して、起業を考えている方等に情報提供し、安い家賃で一定期間を決めて試験的に貸し出すことにより、空き店舗対策を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 25店舗(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより空き店舗減少を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3：0店舗
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 対象の空き店舗や空きスペースの調査を行うも、効果的な立地スペースや所有者等の意向確認を行う等の検討を行ったが、当初の事業目的は達成出来なかった。
事業の今後	今後は、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施していくとともに、新たに「エリアマネジメント促進事業」を位置付け、中心市街地内の各エリアの価値向上を図るための組織体を立ち上

	げ、対象となる店舗や空きスペース等の選定、所有者等との交渉を一体で進め、さらなる魅力的な商業空間の創出を目指す。
⑤. 創業支援補助事業（伊丹市）【令和3年度追加】	
事業実施期間	令和3年度【実施中】
事業概要	中心市街地をはじめ、市内で新たに創業する者に対し、予算の範囲内において、新たに構えた事務所、コワーキングスペースを含む店舗等の賃借料の一部を補助し、創業者の負担を軽減することで、創業を促進し、本市産業の振興及び雇用の創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和3年度) ※中心市街地活性化ソフト事業の支援対象は、中心市街地区域内で実施する分のみ。
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 ー ・最新値 ー ※計画期間の延長(令和3年度)で実施の事業であり、個別の数値は未設定。 ※R3: 5店舗/19店舗(市域全体)
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値: 未設定】 当該事業は、令和2年度で新規募集が終了した「空き店舗出店促進事業」に代わる事業として、その対象範囲を市域全体としており、令和3年度は市域全体で19店舗の申請のうち、中心市街地内では5店舗となり、空き店舗の解消に繋がったことから、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	当該事業は、本計画において空き店舗対策の主要事業として位置付け実施してきた。 今後は、第3期計画にも位置付け、「空き店舗情報バンク・マッチング事業」とも連携し、創業希望者・新規出店者への効果的な情報提供を行いながら、引き続き創業支援及び雇用創出を目指す。
⑥. コワーキングスペース開設支援事業(伊丹市)【令和3年度追加】	
事業実施期間	令和3年度【未実施】
事業概要	中心市街地をはじめ、市内でコワーキングスペースを新たに開設する事業者等に対して建物改修費等の経費の一部を支援し、起業しやすい環境づくりを整備することで、創業を促進し、本市産業の振興及び雇用の創出を図り、テレワークの導入等多様な働き方の推進を図る。 具体的には、兵庫県の「コワーキングスペース開設支援事業」を活用して、地域における起業拠点の開設を支援し、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するとともに、市民の雇用機会の創出を目指すことを目的とした。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和3年度) ※中心市街地活性化ソフト事業の支援対象は、中心市街地区域内で実施する分のみ。
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 ー ・最新値 ー ※計画期間の延長(令和3年度)で実施の事業であり、個別の数

	値は未設定。
達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 令和元年度には中心市街地内に当該事業を活用したコワーキングスペースが1件開設し、その他民間企業による開設も2件あったが、その後市ホームページ等で事業PRを行うものの需要が無く、また令和3年度には相談等もあったが、開設に至らず、当初の事業目的は達成出来なかった。
事業の今後	当該事業は、開設に関する相談等は継続的に行うものの、本計画をもって終了する。今後は、第3期計画に位置付ける「創業支援事業」や「エリアマネジメント促進事業」とも連携し、引き続き創業支援及び雇用創出を目指す。

⑦. 空き店舗情報バンク・マッチング事業(伊丹市)【令和3年度追加】

事業実施期間	令和3年度【実施中】
事業概要	中心市街地内の空き店舗情報を一元化し、出店を検討している者に空き店舗情報や制度情報を提供することにより、商店街等への出店を促す。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 ー ・最新値 ー ※計画期間の延長(令和3年度)で実施の事業であり、個別の数値は未設定。
達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 当初、中心市街地内の空き店舗、空き事務所の情報を市ホームページに公開し、空き店舗等への利用・出店希望者に情報発信を実施する予定だったが、令和3年度は本市を管轄する兵庫県宅地建物取引業協会阪神北支部との調整等により中心市街地内の空き店舗のうち、不動産事業者が賃貸借・売買及びその仲介を行う空き店舗等を市ホームページに公開する等の制度見直しを行ったことから、市ホームページ内に専用ページを構築・募集するのみとなったことから、当初の事業目的は達成出来なかった。
事業の今後	現在、3件の空き店舗情報を市ホームページに掲載しているが、今後は、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施していくとともに、「創業支援事業」や新たに位置付ける「エリアマネジメント促進事業」等とも連携し、不動産事業者以外のオーナーが所有する物件等も対象に広げるなど、さらなる魅力的な商業空間の創出を目指す。

⑧. 商店街再編事業(伊丹市)【令和3年度追加】

事業実施期間	令和3年度【済】
事業概要	中心市街地内の、兵庫県のまちなか再生計画に基づく再編対象店舗の移転、開業に伴う経費の内、移転費を補助することにより、まちづくりと一体となった商店街再編を支援する。 対象エリアは、中心市街地内の「サンロード商店街」とする。
国の支援措置名及び	国の支援措置なし

び支援期間	
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 ー ・ 最新値 ー ※計画期間の延長(令和 3 年度)で実施の事業であり、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 新型コロナウイルス感染症の影響により対象エリアへの新規出店は1店舗のみとなったことから、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	令和3年4月にはエリアを拡大し、引き続き「サンロード商店街」を核としているが、当該商店街の組織(振興組合)が空き店舗対策等に取り組み、まちなか再生協議会は商業施策以外の取り組み(子ども食堂等)を担うこととなった。 今後は、当該商店街の組織(振興組合)とも連携しながら、第3期計画に位置付ける「創業支援事業」や「エリアマネジメント促進事業」、「空き店舗情報バンク・マッチング事業」を総合的に取り組み、さらなる魅力的な商業空間の創出を目指す。

●今後の対策

中心市街地の空き店舗数について、主要事業は概ね順調に進捗したものの、空き店舗が増加し続け、基準値も下回り、目標も達成出来なかった。

これまで、中心市街地の空き店舗への出店者に対する補助に取り組んできたが、4極2軸と呼ばれる人通りの多い道路に面した1階部分のテナントなど、一般的に好条件とされる物件では順調に空き店舗の解消が図れてきた。

しかしながら、昇降設備がなく、建物自体の老朽化が著しい、また前面道路が狭隘等で立地状況が好ましくない物件では空き店舗が解消されなかったため、対策の効果が数値にも表れなかったことも要因の一つである。

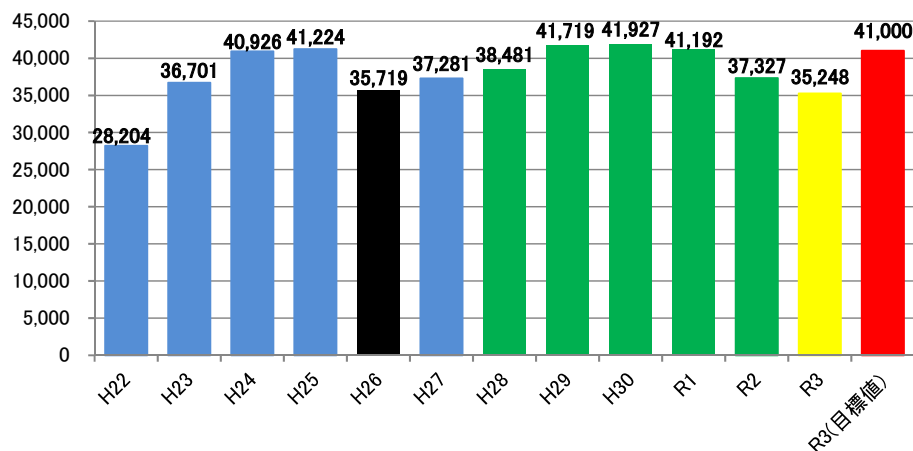
特に、令和3年度の中心市街地の空き店舗のうち、約半数が『1階の空き店舗』となっていることから、空き店舗と営業店舗が交互となるなど、商店街などにおける「店舗の連続性」が失われ、結果として魅力も低下しているものとする。

このような課題を解決するため、令和4年4月から令和9年3月までを計画期間とする第3期計画において、目標指標「中心市街地の1階の空き店舗数」を位置付け、既存の事業も継続して取り組むとともに、中心市街地内の各エリアにおける価値向上に繋げる事業も新たに取り組むことで、経済活力の向上を図っていききたい。

(3) 「2 軸における歩行者・自転車通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P84～P88 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H26	35,719 (基準年値)
H28	38,481
H29	41,719
H30	41,927
H31	41,192
R2	37,327
R3	35,248
R3	41,000 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量を毎年10月の第2週休日に5地点において10～20時で計測。(イベント開催考慮の上、10月第3週日曜日に実施)

※調査月：令和3年10月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地内5地点

- ・宮ノ前商店街(図書館前)
- ・すし善前
- ・阪急伊丹駅東
- ・ニトリ南側
- ・アリオ前

<分析内容>

「2軸における歩行者・自転車通行量」の増加に向けたハード整備のうち、「観光Wi-Fi整備事業」、「自転車駐車場整備事業」は完了し、「市道中央天津線他電線共同溝整備事業」も順調に進捗するなど、誰もが楽しく歩きやすい歩行者空間、まちなみの整備が進んだ。

また、本計画に位置付けた5棟の分譲マンションの建設も完了し、加えて、中心市街地内における「伊丹まちなかバル」や「イタミ朝マルシェ」、「伊丹郷町屋台村」等のイベント事業が実施された結果、令和元年度には若干下がったものの、基準値・目標値のいずれも達成してきた。

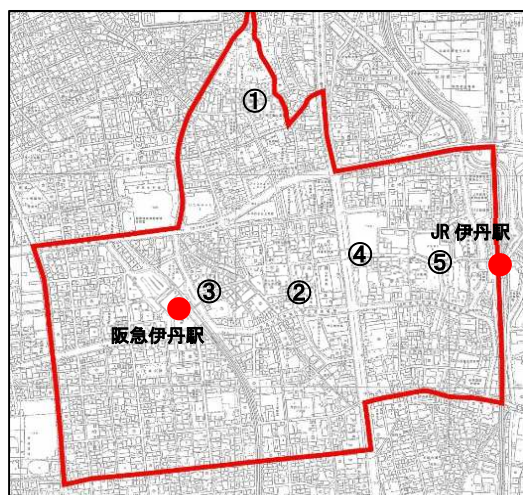
しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで中心市街地内で実施されてきた「伊丹まちなかバル」等のイベント事業が相次いで中止・延期となった結果、令和2年度には目標値を下回ったものの基準値は上回り、計画最終年度である令和3年度には基準値をも下回り、目標値からは▲14%となった。今後は、第3期計画において「2軸における歩行者・自転車通行量」から「中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口(4エリアの合計)」に目標指標を変更し、各種事業に取り組む。

<地点別推移>

(単位：人)

	H26 (基準年値)		H28 (1年目)		H29 (2年目)		H30 (3年目)		R1 (4年目)		R2 (5年目)		R3 (最終年度)	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日
① 宮ノ前商店街	5,358	4,686	4,149	5,286	4,509	5,853	4,949	5,639	4,632	5,624	4,400	4,881	3,588	4,047
② すし善前	4,409	3,113	3,437	3,332	3,116	3,707	3,753	3,164	3,975	3,477	3,158	2,907	2,999	2,958

③ 阪急伊丹駅東	5,845	7,395	6,350	6,657	6,681	7,299	6,276	7,778	6,453	7,298	5,538	6,596	5,301	7,001
④ ニトリ南側	9,834	10,295	8,833	11,203	10,537	11,988	8,651	11,531	8,784	11,516	9,207	10,617	7,910	9,312
⑤ アリオ前	9,919	10,230	9,611	12,003	10,926	12,872	10,277	13,815	10,307	13,277	10,494	12,258	9,586	11,930
合計	35,365	35,719	32,381	38,481	35,769	41,719	33,906	41,927	34,151	41,192	32,797	37,327	29,384	35,248



●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗リノベーション事業(伊丹まち未来株、民間事業者など) ※再掲

事業実施期間	平成28年度～令和3年度【済】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)(平成30年度) 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(令和元年度～) 商店街活性化・観光消費創出事業(経済産業省)(令和元年度～)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,000人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3:1店舗
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値:未設定】 対象の空き店舗や空きフロアの調査を行い、当該物件の所有者等と交渉行うも合意に至らなかったことから、当初の事業目的は達成出来なかった。
事業の今後	当該事業については、令和3年度をもって完了とするが、今後は

	第3期計画において既存の「創業支援事業」や「商店街等活性化補助事業」に加え、新たに「エリアマネジメント促進事業」等を位置付け、総合的に空き店舗対策に取り組むことで、さらなる来街機会の増加を目指す。
--	--

②. 空き店舗出店促進事業(伊丹市) ※再掲

事業実施期間	平成28年度～令和3年度【済】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成28年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 2,000人 ・最新値 1,900人 目標未達成
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未達成】 当該事業を活用した新規出店について、平成28年度8店舗、平成29年度6店舗と、当初の平均4店舗/年を上回っていたが、平成30年度以降は申請件数が減少し、合計19店舗(19店舗×100人=1,900人)で目標を達成出来なかった。
事業の今後	当該事業は、令和2年度で新規募集が終了し、令和3年度からは新たに「創業支援事業」を実施している。 今後は、第3期計画に位置付け、既存の「商店街等活性化補助事業」に加え、新たに「エリアマネジメント促進事業」等を位置付け、空き店舗対策に取り組むことで、さらなる魅力的な商業空間の創出を目指す。

③. まちなか大規模イベントの開催・拡充(民間、伊丹市) ※再掲

事業実施期間	平成10年度～令和3年度【実施中】
事業概要	四季折々の大規模なイベントを開催することで、中心市街地のにぎわいを創出し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成28年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 750人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・中心市街地内の大規模イベント参加者数 ※H28～R1：284,500人(R2、R3は中止) ※イベント名：宮前まつり、ふれあい夏まつり、愛染まつり、蔵まつり
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模イベントは中止となったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成28年度から令和元年度の平均が51,550人であったことから、当初の事業目的は一定達成出来た。
事業の今後	今後は、第3期計画にも位置づけ、新型コロナウイルス感染症の

	影響による、国及び県・市のイベント開催に関する方針を遵守し、開催の是非および実施方法等を検討し、引き続き中心市街地のにぎわい創出のため継続して事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。
--	--

④. 文化施設連携事業(いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市) ※再掲

事業実施期間	平成 20 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施など、有機的な連携を図る。 具体的には、中心市街地内の文化施設(8 施設)における公演や三軒寺前広場におけるイベント情報をまとめた「カルチャーインフォメーション」の発行をはじめ、中心市街地内の文化施設 3 館と図書館、三軒寺前広場、さらには周辺地域の商業施設等で行うイベント「鳴く虫と郷町」、さらには文化施設 3 館の有料公演の利用者に対して半券等を持参することで、中心市街地内の飲食店等で割引等のサービスを受けることができる「鑑賞 de 寄っトク！ itami」を実施した。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 54,000 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設(8 施設)が閉館や開館時間の短縮によりイベント等が中止・延期となったものの、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	これまでは、文化施設(8 施設)が個々の公演やイベント等を実施することが多く、当該文化施設同士の連携事業が不十分であった。また、令和元年度から実施した文化施設と中心市街地内の飲食店等との連携事業である「鑑賞 de 寄っトク！ itami」についても、PR が不十分であったことから、今後も事業を継続させ、特に令和 4 年 4 月にリニューアルオープンする「市立伊丹ミュージアム」も対象施設に加えるなど、第 3 期計画にも位置づけ、引き続き感染症対策を講じた上で、中心市街地のにぎわい創出のため連携事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑤. 観光 Wi-Fi 整備事業(伊丹市) ※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	中心市街地内に公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、国内外を問わず観光客の回遊性を図る。
国の支援措置名及び支援期間	観光・防災 Wi-Fi スターション整備事業(総務省)(平成 29 年度)
事業目標値・最新	・事業目標値 600 人(全体)

値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・最新値 ー ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・中心市街地内において 11 ヲ所設置済 ※H28～R3 : 328, 865 件(年平均 54, 811 件)
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、安全・安心のまちに向けて市民の防災対策の強化や訪日外国人等観光客に対するサービスの提供を可能とし、中心市街地の回遊性向上を図っていくという当初の事業目的は達成した。
事業の今後	今後は、既存の公衆無線 LAN の更新を実施していくとともに、令和 4 年 4 月にリニューアルオープンする「市立伊丹ミュージアム」内にも一部増設を行い、引き続き環境整備を進め、さらなる観光客の回遊性の向上を目指す。

⑥. 自転車駐車場整備事業(伊丹市) ※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～平成 30 年度【済】 [認定基本計画：平成 28 年度～平成 29 年度]
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)(平成 28 年度～令和 3 年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標値 600 人(全体) ・最新値 ー ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・中心市街地内に 6 ヲ所、合計 634 台分が整備済。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 中心市街地内の文化施設(8 施設)の利用向上にも繋がり、加えて自転車の違法駐車等も解消されるなど、円滑な通行空間が確保され、回遊性の向上に寄与していることから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	今後は、第 3 期計画にも位置づけ、整備した自転車駐車場の維持管理・改修を計画的に実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑦. 宮ノ前 2 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の近隣商業地域に 11 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標値 1, 660 人(全体) ・最新値 ー ※当該事業を含めた全体の取り組みで通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。

達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り、分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 28 年度事業完了

⑧. 伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 28 年度～平成 29 年度【済】 [認定基本計画：平成 28 年度]
事業概要	区域内の近隣商業地域に 10 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,660 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みで通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 当初の計画より遅れて、分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 29 年度事業完了

⑨. 伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 7 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,660 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みで通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り、分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 28 年度事業完了

⑩. 西台 1 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 8 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,660 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みで通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。

達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り、分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 28 年度事業完了

⑪. 西台 3 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 5 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,660 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みで通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り、分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 28 年度事業完了

⑫. チャレンジショップの開催(伊丹市中心市街地活性化協議会など) ※再掲

事業実施期間	平成 20 年度～令和 3 年度【未実施】
事業概要	商店街などの空き店舗、空きスペースなどを利用して、起業を考えている方等に情報提供し、安い家賃で一定期間を決めて試験的に貸し出すことにより、空き店舗対策を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,000 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3：0 店舗
達成した（出来なかった）理由	【個別の事業目標値：未設定】 対象の空き店舗や空きスペースの調査を行うも、効果的な立地スペースや所有者等の意向確認を行う等の検討を行ったが、実施に至らず、当初の事業目的は達成出来なかった。
事業の今後	今後は、第 3 期計画にも位置付け、継続して事業を実施していくとともに、新たに「エリアマネジメント促進事業」を位置付け、中心市街地内の各エリアの価値向上を図るための組織体を立ち上げ、対象となる店舗や空きスペース等の選定、所有者等との交渉を一体で進め、空き店舗対策に取り組むとともに、さらなる魅力的な商業空間の創出を目指す。

⑬. 伊丹郷町屋台村の開催(伊丹郷町商業会)

事業実施期間	平成 23 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	中心市街地の商店主が三軒寺前広場において、夏と冬に 3 日間ず

	つ趣向を凝らした屋台を出店し、イベント開催による通行量の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 750人(全体) ・最新値 ー ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3：88,000人
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の冬は中止となり、令和3年度には2日間開催としたことから回数減となったものの、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	当該イベントは、中心市街地内の通行量増加並びに、にぎわい創出には重要な事業であることから、今後は、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑭. アリフリ事業の開催(アリオ名店会)

事業実施期間	平成19年度～令和3年度【実施中】
事業概要	JR伊丹駅近くでフリーマーケット等を開催することで、商店街や個店のPR、リピーターや新規顧客の獲得による来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 750人(全体) ・最新値 ー ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R1：2,000人(R2、R3は中止)
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降中止が続き、回数減となったものの、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	当該イベントは、中心市街地内の通行量増加並びに、にぎわい創出には重要な事業であることから、今後は、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑮. イタミ朝マルシェの開催(伊丹市中心市街地活性化協議会)

事業実施期間	平成24年度～令和3年度【実施中】
事業概要	三軒寺前広場にて毎月1回日曜日の朝に飲食や物販品など魅力ある商品を販売及び野外演奏やダンス等を行うことで、通行量の増加を図る。 具体的には、中心市街地内の4極(阪急伊丹、JR伊丹、宮ノ前、サンロード)を結ぶ2軸が交わる「三軒寺前広場」において、毎月1回日曜日に飲食や物販等の商品販売やミュージシャンの生演奏を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

び支援期間	
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標値 750人(全体) ・最新値 — <p>※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。</p> <p>※H28～R3：19,500人</p>
達成した（出来なかった）理由	<p>【個別の事業目標値：未設定】</p> <p>当該事業は家族連れにも好評であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降中止が続き、回数減となったものの、当初の事業目的は一定達成した。</p>
事業の今後	<p>当該イベントは、中心市街地内の通行量増加並びに、にぎわい創出には重要な事業であることから、今後は、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。</p>

⑩. 創業塾の開催(商工会議所) ※再掲

事業実施期間	平成18年度～令和3年度【実施中】
事業概要	<p>創業準備中の方や、将来起業を考えている方等、誰もが参加できる創業塾や、女性だけを対象にした女性創業塾を開催し、開業に向けてサポートし、商業の担い手を育成する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標値 1,000人(全体) ・最新値 — <p>※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。</p> <p>※H28～R3：161人</p>
達成した（出来なかった）理由	<p>【個別の事業目標値：未設定】</p> <p>当該事業は、商工会議所が起業を考えている方を対象に、具体的なノウハウを伝える塾を開催し、市街地内における創業支援につなげることを目的として、令和元年度からは女性だけを対象にした女性創業塾も開催してきた。</p> <p>しかしながら、創業塾の参加者が中心市街地において実際に創業したかどうかまでは追跡調査を行っていないものの、当初の事業目的は一定達成した。</p>
事業の今後	<p>今後は、第3期計画にも位置づけ、継続して事業を実施していくことで、「創業支援事業」とも連携し、引き続き中心市街地での創業促進を図り、さらなる魅力的な商業空間の創出を目指す。</p>

⑪. 地場野菜の朝市開催事業(JA兵庫六甲、シルバー人材センター、伊丹市)

事業実施期間	平成19年度～令和3年度【実施中】
事業概要	<p>シルバー人材センターによる地場野菜の朝市を開催し、中心市街地の集客の強化や回遊性の向上を図る。</p> <p>具体的には、中心市街地内の「三軒寺前広場」において、お盆期間及び年末年始を除く毎週火曜日に地場野菜の朝市を開催した。</p>
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標値 750人(全体) ・最新値 ー ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3：9,250人
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 雨天中止を除き、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降中止が続き、回数減となったが、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	当該イベントは、中心市街地内の通行量増加並びに、にぎわい創出には重要な事業であることから、今後は、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑱. 市道中央天津線他電線共同溝整備事業(伊丹市)

事業実施期間	平成29年度～令和3年度【実施中】
事業概要	景観・バリアフリー・防災の観点から、電線類を地中化し、ひと中心の安心・安全・快適な歩行空間と自転車通行空間の創出を行う。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金(国土交通省)(平成29年度～令和元年度) 無電柱化推進計画事業補助(国土交通省)(令和2年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標値 600人(全体) ・最新値 ー ※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 工事着手後、順調に工事が進行したことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	本市の無電柱化推進計画に基づき、本計画では「三軒寺前広場」東側の市道中央天津線他において工事が順調に進んだ。 今後は、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施し、さらなる快適な歩行者・自転車通行空間の創出を目指す。

⑲. まち衆によるPR事業(伊丹市、教育委員会、文化財ボランティア、いたみアピールプラン推進協議会など)

事業実施期間	平成15年度～令和3年度【済】
事業概要	市民が主体となって、伊丹固有の文化や伝統、歴史を市内外にアピールし、来街者をもてなすことにより、本市の魅力向上を図る。 具体的には桜や歴史に関するウォーキングツアーや講座、フォーラムを実施し、さらには観光客向けPR冊子を改訂し、令和2年6月認定の「日本遺産」や令和4年4月にリニューアルオープンする「市立伊丹ミュージアム」をはじめ、本市の魅力をもてPRすることが出来た。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標値 600人(全体) ・最新値 ー

	<p>※当該事業を含めた全体の取り組みにより通行量の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。</p> <p>・対象：アピールプラン推進協議会のイベント</p> <p>※H28～R3：1,408人</p>
達成した（出来なかった）理由	<p>【個別の事業目標値：未設定】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度以降、ツアーや講座、フォーラムも中止・延期となり、参加者が減少したものの、当初の事業目的は達成した。</p>
事業の今後	<p>今後は、第3期計画にも「ワンデーウォーキングの開催」として位置付け、継続して事業を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。</p>

●今後の対策

2軸における歩行者・自転車通行量について、主要事業のうちハード事業は概ね順調に進捗し、歩きやすいまちなみの整備が進むとともに、5棟の分譲マンション建設も完了するなど、年度ごとに通行量も増加した。加えて、「伊丹まちなかバル」や「イタミ朝マルシェ」、「伊丹郷町屋台村」などのソフト事業も継続的に実施してきた結果、通行量増加に寄与してきた。

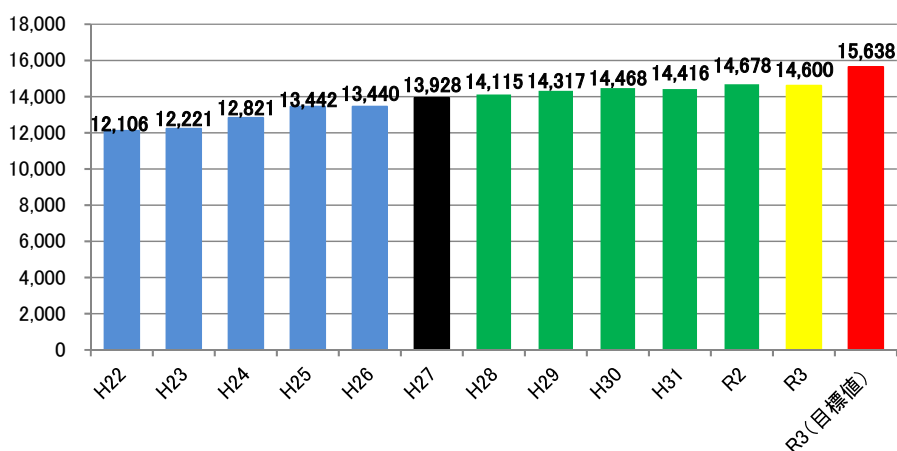
しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による中止・延期が続き、令和2年度以降基準値も下回り、目標も達成出来なかった。

今後、令和4年4月から令和9年3月までを計画期間とする第3期計画に取り組むこととしているが、目標指標を2軸における歩行者・自転車通行量から「中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口」に変更して位置付け、歩きやすい歩行者空間等のまちなみ整備を継続して取り組むとともに、民間のビックデータを活用したイベントの効果検証を適宜実施しながら、新型コロナウイルス感染症の影響下においても持続可能なイベントにも取り組むなど、中心市街地内の通行量、滞在時間も増やす、いわゆる「流動人口の増加」を図っていきたい。

④「中心市街地における居住人口」

※目標設定の考え方基本計画 P88～P90 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H27	13,928 (基準年値)
H28	14,115
H29	14,317
H30	14,468
H31	14,416
R2	14,678
R3	14,600
R3	15,638 (目標値)

※調査方法：国勢調査推計人口

※調査月：令和3年10月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：伊丹市伊丹1～3丁目、中央1～6丁目、西台1～5丁目、宮ノ前1～3丁目

<分析内容>

ハード整備として、「まちなみ景観整備事業」、「自転車駐車場整備事業」、「安全・安心見守りカメラ整備事業」等は概ね順調に取り組み、中心市街地をはじめとした本市の安全・安心な居住環境が整備されたことや、「シティプロモーション事業」での「住みたいまち」の魅力発信、さらには「保育所開設事業」や「分譲マンション建設事業」、「三世同居・近居促進事業」、「民間賃貸住宅ストック活用事業」等に取り組んだ結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、順調に居住人口が増加した。

しかしながら、本計画の最終年度である令和3年度については居住人口が若干減少し、計画期間中には基準値は達成出来たが、目標値は達成出来なかった。

<エリア別人口推移>

(単位：人)

	H27 (基準年値) H27.1		H28 (1年目) H28.1		H29 (2年目) H29.1		H30 (3年目) H30.1	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①伊丹	2,331	2,604	2,369	2,626	2,356	2,638	2,380	2,667
②中央	1,372	1,505	1,553	1,726	1,556	1,742	1,530	1,712
③西台	2,023	2,256	2,000	2,258	2,017	2,299	2,063	2,332
④宮ノ前	786	910	789	910	782	903	837	967
中心市街地 合計	6,512	7,275	6,711	7,520	6,711	7,582	6,810	7,678
	13,787		14,231		14,293		14,488	
伊丹市全体	201,912		202,037		201,865		202,193	
割合	6.8%		7.0%		7.1%		7.2%	

	H31(R1) (4年目) H31.1		R2 (5年目) R2.1		R3 (6年目) R3.1		R4 ★最新版 R4.1	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
①伊丹	2,400	2,649	2,417	2,653	2,417	2,689	2,440	2,718
②中央	1,535	1,726	1,549	1,766	1,554	1,790	1,524	1,751
③西台	2,027	2,307	2,075	2,325	2,087	2,330	2,063	2,302
④宮ノ前	842	976	862	1,018	927	1,099	934	1,096
中心市街地 合計	6,804	7,658	6,903	7,762	6,985	7,908	6,961	7,867
	14,462		14,665		14,893		14,828	
伊丹市全体	203,261		203,539		203,509		202,978	
割合	7.1%		7.2%		7.3%		7.3%	

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 三世同居・近居促進事業(伊丹市)

事業実施期間	平成28年度～令和2年度【済】
事業概要	三世家族の形成を促進し、高齢者の孤立を防ぐとともに「親・子・孫の絆」の再生を図ることを目的として、子世帯の転入を促し都市力を増進させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 160人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め全体の取り組みにより居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3: 36件 109人
達成した(出来な)	【個別の事業目標値: 未設定】

かった)理由	中心市街地を含めた本市の転入促進事業を展開したことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	当該事業は令和2年度で事業を終了し、令和3年度からは中心市街地をはじめとした市内の空き家を購入し、自己の居住用住宅として活用する世帯に対する、改修工事に要する費用の一部を補助する「空き家活用促進事業」をスタートさせた。 今後も、第3期計画にも位置付け、継続して事業を実施し、中心市街地内の居住人口増加を目指す。

②. 民間賃貸住宅ストック活用事業(伊丹市)

事業実施期間	平成28年度～令和3年度【済】
事業概要	市営住宅整備基準に適した優良な民間賃貸住宅の空き家を借り上げ、市営住宅として提供する。市営住宅の公設公営から民設公営へと転換していく。
国の支援措置名及び支援期間	公的賃貸住宅家賃対策調整補助金(国土交通省)(平成28年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 160人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含めた全体の取り組みにより居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3: 60戸59人
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値:未設定】 中心市街地内の借り上げた民間賃貸住宅は4棟11戸あり、新規入居や中心市街地外からの住み替え等が行われたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	当該事業は、本市の「市営住宅等整備計画」に基づき、市営住宅のあり方として、既存の老朽化した市営住宅は原則として建替えを行わず、中心市街地をはじめとした84戸の民間賃貸住宅を活用してきた。 今後も、民間賃貸住宅の活用を継続し、中心市街地の居住人口の増加を目指す。

③. 宮ノ前2丁目分譲マンション建設事業(民間事業者) ※再掲

事業実施期間	平成28年度【済】
事業概要	区域内の近隣商業地域に11階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,450人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値:未設定】 計画通り分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成28年度事業完了

④. 伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者) ※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～平成 29 年度【済】 [認定基本計画：平成 28 年度]
事業概要	区域内の近隣商業地域に 10 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,450 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 当初の計画より遅れて分譲マンションが建設されたものの、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 29 年度事業完了

⑤. 伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者) ※再掲

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 7 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,450 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 28 年度事業完了

⑥. 西台 1 丁目分譲マンション建設事業(民間事業者) ※再掲

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 8 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,450 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成 28 年度事業完了

⑦. 西台3丁目分譲マンション建設事業(民間事業者) ※再掲

事業実施期間	平成28年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に5階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,450人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り分譲マンションが建設されたことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成28年度事業完了

⑧. やわらぎ保育園開設(認可保育事業)(民間事業者)

事業完了時期	平成28年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、JR伊丹駅周辺において認可保育事業を実施し、通勤する人の利便性に寄与することで、近隣集客拠点、まちなか居住を推進し、商業機能の底上げを図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 100人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り定員60人の認可保育園が開設したことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成28年度事業完了

⑨. イタミ・サン保育園開設(小規模保育事業)(民間事業者)

事業完了時期	平成28年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、阪急伊丹駅周辺において小規模保育事業を実施し、子育て層のまちなか居住を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 100人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 計画通り定員19人の認可保育園が開設したことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	平成28年度事業完了

⑩. 安全・安心見守りカメラ整備事業(伊丹市)

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	全国で子どもが巻き込まれる痛ましい事件が多発していることや、平成 26 年に市内で発生した局地的豪雨等により生じた被害経験から、安全・安心見守りカメラを中心市街地に整備し、防犯にとどまらず、行方不明者の捜索等に多目的に利用することで、安全・安心な街なか居住を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・ 事業目標値 160 人(全体) ・ 最新値 ー ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 中心市街地に 45 台のカメラを設置したことから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	今後は、第 3 期計画にも位置づけ、計画期間内に整備したカメラの計画的な更新、再配置等を行い、さらなる安全・安心な街なか居住の推進を目指す。

⑪. ビーコン整備事業(伊丹市)

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	安全・安心見守りカメラとあわせビーコン受信機を整備し、ビーコン発信機を持った子どもや認知症高齢者の位置情報を、保護者のスマートフォン等に通知するサービスを官民協働事業で実施するなど、安全・安心な街なか居住を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・ 事業目標値 160 人(全体) ・ 最新値 ー ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 中心市街地内の自動販売機には 5 台のビーコン受信機が設置され、官民協働でビーコンによる位置情報通知サービスを行ったことから、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	今後は、第 3 期計画にも位置づけ、計画期間内に新たなビーコン受信機の設置を行い、さらなる安全・安心な街なか居住の推進を目指す。

⑫. 自転車駐車場整備事業(伊丹市) ※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～平成 30 年度【済】 [認定基本計画：平成 28 年度～平成 29 年度]
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行

	い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)(平成 28 年度～令和 3 年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 160 人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ・ 中心市街地内に 6 ヲ所、合計 634 台分が整備済。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 中心市街地内の居住人口の増加にも繋がり、加えて自転車の違法駐車等も解消されるなど、円滑な通行空間が確保され、回遊性の向上に寄与していることから、当初の事業目的は達成した。
事業の今後	今後は、第 3 期計画にも位置づけ、計画期間内に整備した自転車駐車場の維持管理・改修を実施し、さらなる来街機会の増加を目指す。

⑬. 空き店舗リノベーション事業(伊丹まち未来株、民間事業者など) ※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～令和 3 年度【済】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口・定住人口の増加を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	<p>地域まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)(平成 30 年度)</p> <p>地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(令和元年度～)</p> <p>商店街活性化・観光消費創出事業(経済産業省)(令和元年度～)</p>
事業目標値・最新値及び達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目標値 160 人(全体) ・ 最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3：1 店舗
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 対象の空き店舗や空きフロアの調査を行い、当該物件の所有者等と交渉行うも合意に至らなかったことから、達成出来なかった。
事業の今後	当該事業については、空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めることを目的としており、空き店舗調査により中心市街地内の空き店舗や空きフロア自体の情報は入手しているため、今後は第 3 期計画では「エリアマネジメント促進事業」を新たに位置付け、中心市街地内の各エリアの価値向上を図るための組織体を立ち上げ、候補地となる物件の選定、所有者等との交渉、リノベーション等を一体で進め、さらなる魅力的な商業空間の創出を目指す。

⑭. シティプロモーション事業(伊丹市)

事業実施期間	平成 27 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	「住みたいまち伊丹」や「清酒発祥の地伊丹」など、戦略的なシティプロモーションの強力に推し進め「まちの魅力」を増進し、それを「戦略的・効果的」に発信、転入を促し、都市力を増進させる。具体的には、本市の PR 冊子の発行や市ホームページ、公式 SNS の活用、伊丹大使や民間事業者との連携を通じて本市の魅力を多方面から PR し、さらには令和 2 年 6 月に認定された日本遺産をはじめ、清酒発祥の地を PR した。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 1,450 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 当該事業は、中心市街地をはじめ本市の魅力を発信することで、居住人口や交流人口が増加することを目的としており、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	今後は、第 3 期計画にも位置づけ、計画期間内には中心市街地を含めた本市のプロモーションを効果的に実施し、居住人口の増加を目指す。

⑮. まちなみ景観整備促進事業(伊丹市)

事業実施期間	昭和 59 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	景観条例に基づいた落ち着いたまちなみ景観を形成することにより、交流人口の増加及び来街者の回遊性の向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 160 人(全体) ・最新値 — ※当該事業を含め、全体の取り組みで居住人口の増加を目指すことから、個別の数値は未設定。 ※H28～R3 の実績 1) 景観法・景観条例に基づく届出：70 件 2) 景観助成金件数：6 件
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値：未設定】 景観法並びに景観条例に基づき、中心市街地内に設定された特定のエリア(景観計画区域)における景観重要建造物等の修繕費用の一部を助成する制度の申請件数は少なかったものの、当該エリアにおける建築物の新築等に係る届出件数が一定あったことから、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	今後は、第 3 期計画にも位置づけ、計画期間内に引き続きまちなみ景観の形成を図りながら、居住人口の増加を目指す。

⑩. 空き家活用支援事業(伊丹市)

事業実施期間	令和3年度【実施中】
事業概要	市内の空き家等を活用する子育て世帯等に改修費の一部を補助することで、本市への移住・定住を促進するとともに空き家の解消に向けて取り組む。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業(地域住宅政策推進事業))(令和3年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	・事業目標値 ー ・最新値 ー ※計画期間の延長(令和3年度)で実施の事業であり、個別の数値は未設定。 ※R3:1件
達成した(出来なかった)理由	【個別の事業目標値:未設定】 当該事業は令和3年8月以降から実施したが、予定していた件数(予算)に達したことから、当初の事業目的は一定達成した。
事業の今後	今後は、第3期計画にも位置づけ、従来の転入促進・転出抑制、空き家解消等、総合的な取り組みを計画期間内に実施し、居住人口の増加を目指す。

●今後の対策

中心市街地における居住人口について、主要事業のうちハード事業は新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく概ね順調に進捗し、居住人口の増加に繋がった。

しかしながら、居住人口の増加に繋がる保育施設の建設以外の、分譲マンション建設が1件のみとなり、取り組みを継続しなければ居住人口は減少に転じる可能性もある。

今後、令和4年4月から令和9年3月までを計画期間とする第3期計画に取り組むこととしており、目標指標を居住人口全体から「居住人口(社会増減数)」に変更して位置付け、継続して中心市街地内における保育施設や分譲マンション建設等のハード事業に取り組む、中心市街地を含めた本市のプロモーション等を効果的に行うなど、子育て世代をはじめとした住みやすい環境を整備し、特に安全・安心なまちとして整備した見守りカメラ、ビーコンの更新を計画期間内に順次行いながら、「転入促進・転出抑制」を図り、居住人口の増加を目指す。

さらには、民間のビックデータを活用してイベントの効果検証を行いながら、新型コロナウイルス感染症の影響下においても持続可能なイベントにも取り組むなど、中心市街地内の流動人口の増加を図っていきたい。